ＩＣＴ活用など10事例
大成ロテックが テクノフォーラム



大成ロテックは埼玉県鴻巣市の鴻巣研究所で7日、社内技術発表会「テクノフォーラム２０２６」を開いた。ＩＣＴやＣＩＭを活用した施工の省人化・省力化、舗装の設計・施工、維持補修技術の活用など、現場や技術部門での取り組みを中心に全国の支社が10編の事例を発表した。会場には審査員約30人が出席。発表の様子はオンラインで全国の社員に配信された。

あいさつした加賀田健司社長は、長年にわたり継続してきた同フォーラムについて「技術力を重視する当社の企業文化を象徴する取り組み」と意義を強調し、「技術を大切にし、社会貢献と会社への貢献につなげてほしい」と呼びかけた＝**写真**（大成ロテック提供）。

オンライン参加者から質問が寄せられるなど活発な質疑応答が行われた。各地で培われた技術やノウハウを社内で共有した。

大成ロテックは建設生産活動や技術活動の成果を発表・討議し、技術の水平展開と社員のプレゼンテーション能力向上を目的にテクノフォーラムを毎年開催している。今回で23回目を迎えた。

※無断転載・複写不可